

姉妹都市交流

韓国・扶餘郡の皆さんが太宰府市を訪問しました

本市と昨年、姉妹都市承継提携10周年を迎えた大韓民国・扶餘郡の朴郡守（首長）をはじめとする扶餘郡の皆さんが5月20日(土)～22日(月)、本市を訪問し、市内の史跡などを視察しました。

市役所で市職員による出迎えと歓迎セレモニーを行い、記念品の交換や、本年9月～10月に行われる百済の歴史を伝える文化祭「大百済典」への招待を受け、姉妹都市としての友好関係を改めて確認しました。



本市を訪問した朴郡守(中央左)と扶餘郡の皆さん(左から1・2人目)

国際交流・韓国

大百済典に行ってみませんか

だい く だら てん

太宰府市国際交流員 キムシンヒョン 金辛泓

5月20日～22日の間、姉妹都市である韓国の扶餘郡守をはじめ扶餘郡の皆さんが交流のため太宰府を訪問しました。テレビや新聞ですすでご覧になった人もいるかもしれませんね。扶餘郡の皆さんは太宰府にある大野城跡や水城跡など、百済とゆかりの深い遺跡を見学しました。

扶餘郡の皆さんは太宰府を訪問した後、熊本・大阪・奈良・明日香村にも訪問しました。このように扶餘郡の皆さんが日本の各都市を訪問した最大の理由は、扶餘で開かれる「百済文化祭」のプロモーションのためでした。



水城跡を視察する朴郡守

昨年の広報だざいふの本コラム10月号「百済文化祭」と12月号「百済文化祭に行ってきました!」を覚えていますか? 本年も百済文化祭が開催される予定です。第69回百済文化祭は本年9月23日(土)～10月9日(月)の17日間、「大百済、世界につながる」というテーマで開催されます。そして今回は通常の百済文化祭ではなく、なんと「大百済典」というタイトルで祭りが開かれる予定だそうです。



過去の百済文化祭の様子

2023年は百済にとって特別な年です。百済の首都を熊津から泗泚に遷都し、新たに百済の中興を図った26代王、聖王の即位1500年目でもあり、韓国の国宝第287号に指定された「百済金銅大香炉」発掘30周年を記念する年でもあります。こうした歴史的事実を記念するために、今回の百済文化祭は今までよりもっと大きな規模で開催される予定だそうです。その理由で、今回の百済文化祭は大百済典と名付けられたのです。

普段ならなかなか行けない扶餘ですが、訪問してみたいはいかがでしょうか?



観光名所の百済旧橋